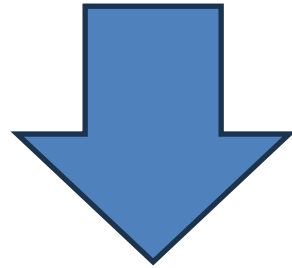


# 令和5年度 東京都中学校美術教育研究会 美術館を活用した鑑賞教育研修

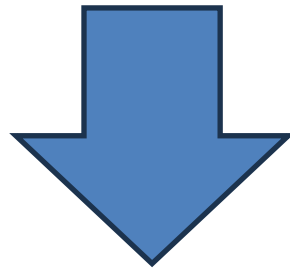
## 造形的な視点を働かせて深い学びに導く 鑑賞の在り方

令和5年7月31日（月）  
世田谷区立砧南中学校  
校長 松永 かおり

# 対話による鑑賞を体験



## 鑑賞の指導力を向上



# 主体的・対話的で深い学びの実現

# ファシリテータを体験

活動を円滑に進行し、より良い結果が得られるよう、  
参加者による課題解決を促進する働き = ファシリテーション (facilitation)  
それを行う人 = ファシリテーター (facilitator)

**本研修におけるファシリテーション能力とは  
子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力**

一般的に言われる  
ファシリテータに  
求められる力

- 理解力
- 論理的思考力
- 質問力・聴く力
- 交渉力

#### 2020年代を通じて実現を目指す学校教育 「令和の日本型学校教育」の姿

＼全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現／



#### 子供の学び

- ✓「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- ✓各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

#個別最適な学び #協働的な学び  
#主体的・対話的で深い学び #ICTの活用



#### 教職員の姿

- ✓環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- ✓子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- ✓子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

#教師の資質・能力の向上 #多様な人材の確保 #家庭や地域社会との連携  
#学校における働き方改革 #教職の魅力発信 #教職志望者の増加



#### 子供の学びや 教職員を支える環境

- ✓ICT環境の整備により全国の学校で指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている
- ✓新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている
- ✓人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている

#ICT環境の整備 #学校施設の整備  
#少人数によるきめ細かな指導体制

**「造形的な視点を働かせること」**

# 中学校 美術科の目標（平成29年度改訂）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

# 中学校 美術科の目標（平成29年度改訂）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中での美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 「柱書」 美術で何を学ぶのか

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

### （1）「知識及び技能」に関する目標

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練るなど、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

### （2）「思考力・判断力・表現力等」に関する目標

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし心豊かな生活を創出し、豊かな態度を養い豊かな情操を培う。

### （3）「学びに向かう力・人間性等」に関する目標

## 柱書

### 造形的な視点

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、**造形的な見方・考え方を働かせ**、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。



## 鑑賞に関わる記述

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

# 造形的な見方・考え方とは・・・

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、  
造形的な視点で捉え、  
自分としての意味や価値をつくりだすこと

# 〔共通事項〕

- ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
- イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などでとらえること。

**造形的な視点を豊かにするために  
必要な知識**

同じものを見ても、よさや美しさを感じる人もいれば、そうでない人もいるように、どれだけ多くのよさや美しさが自分の身近な生活の中にあっても、造形的な視点がなければ気付かず、通り過ぎてしまう。

そして、よさや美しさなどの価値や心情などを感じとる力も十分に育っていないものである。

# 造形的な見方・考え方とは・・・

- 美術科ならではの視点であり、教科で育てる資質・能力を支える本質的な役割を果たすもの
- 生涯にわたって生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力につながるもの

**作品に関する知識はどのように与えるか**

# 美術科における 「知識・技能」 の「知識」とは

教科の目標	学年の目標	内容の構成 (全学年)				目標との関連	
		領域等	項目	事項			
				指導内容	指導事項		
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  (1)「知識及び技能」に関する目標  (2)「思考力、判断力、表現力等」に関する目標  (3)「学びに向かう力、人間性等」に関する目標	(1)各学年の「知識及び技能」に関する目標	領域	A 表現	(1)発想や構想に関する資質・能力	ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	(ア)感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	「思考力、判断力、表現力等」
	イ 目的や機能などを考えた発想や構想			(ア)構成や装飾を考えた発想や構想 (イ)伝達を考えた発想や構想 (ウ)用途や機能などを考えた発想や構想			
	(2)各学年の「思考力、判断力、表現力等」に関する目標		(2)技能に関する資質・能力	ア 発想や構想をしたことなどを基に表す技能	(ア)創意工夫して表す技能 (イ)見通しをもって表す技能	「技能」	
	(3)各学年の「学びに向かう力、人間性等」に関する目標		B 鑑賞	(1)鑑賞に関する資質・能力	ア 美術作品などに関する鑑賞	(ア)感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現に関する鑑賞 (イ)目的や機能などを考えた表現に関する鑑賞	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 美術の働きや美術文化に関する鑑賞		(ア)生活や社会を美しく豊かにする美術の働きに関する鑑賞 (イ)美術文化に関する鑑賞			
			(共通事項)	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して指導	ア 形や色彩などの性質や感情にもたらす効果の理解 イ 全体のイメージや作風などで捉えることの理解	「知識」	

**造形的な視点を働かせて  
深い学びに導く鑑賞の在り方とは**



# なぜ、その作品を鑑賞するのか

- ねらいに応じた作品を選定しているか
- その作品を鑑賞して、  
子供は何を学ぶのか

# なぜ、その作品を鑑賞するのか

B鑑賞(1) 鑑賞の活動を通して、次の通り鑑賞に関する資質・能力を育成する。

## 第1学年

ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

(イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

イ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

(イ) 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

## 第2学年及び第3学年

ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (ア) 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。
- (イ) 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。

# 今回の作品の場合・・・(例)

## 【1 学年】

手段

ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

目的

## 【第2学年及び第3学年】

手段

ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する

(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

目的

# 他の作品の場合・・・(例)

B鑑賞(1) 鑑賞の活動を通して、次の通り鑑賞に関する資質・能力を育成する。

第1学年

ア 美術作品などの見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

(イ) 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

イ 生活の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を広げる活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ア) 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

(イ) 身近な地域や日本及び諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして、見方や感じ方を広げること。

どのように、その作品を鑑賞するのか

ねらいを達成するための活動  
となっているか

# どのように、その作品を鑑賞するのか

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進
- 「深い学び」の鍵として  
「見方・考え方」を働かせることが重要

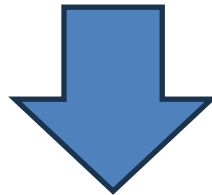
造形的な視点

# 鑑賞の指導の場面で考えてみましょう

- 1 生徒が**対象や事象を造形的な見方や考え方で捉える**場面
- 2 生徒が**感性や創造性を働かせる**場面
- 3 生徒が**自分なりの意味や価値を作り出す**場面

価値の発見、価値の創造、新たな知識の習得、  
次の鑑賞へのつながり

→ 4 **学んで変化した自分を発見する**場面



**題材の中でどう場面設定しているか**

**場面設定できる題材になっているか**

